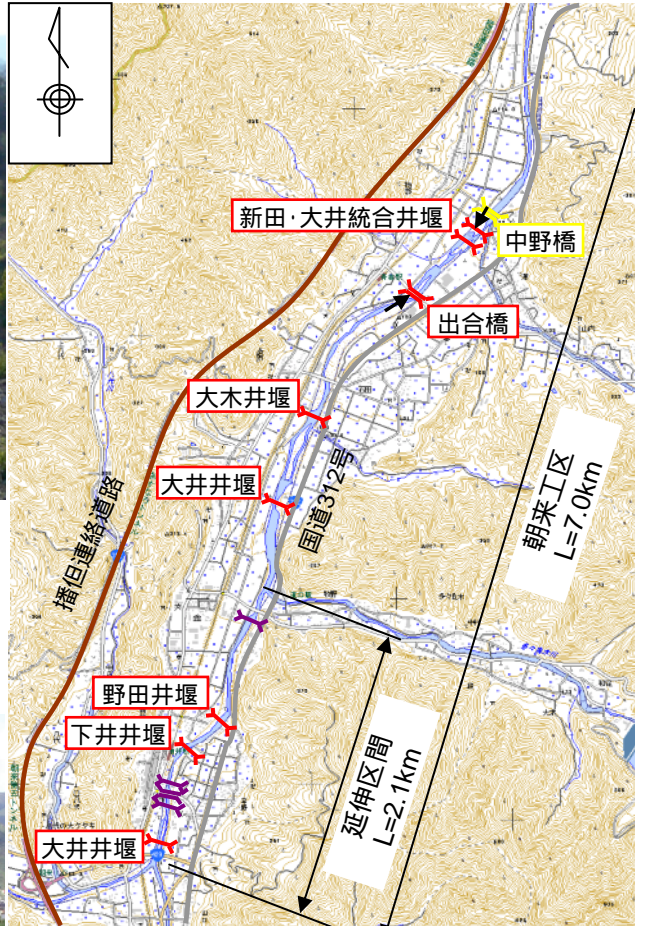


# 未整備区間現況(朝来工区)

## 新田井堰・大井井堰

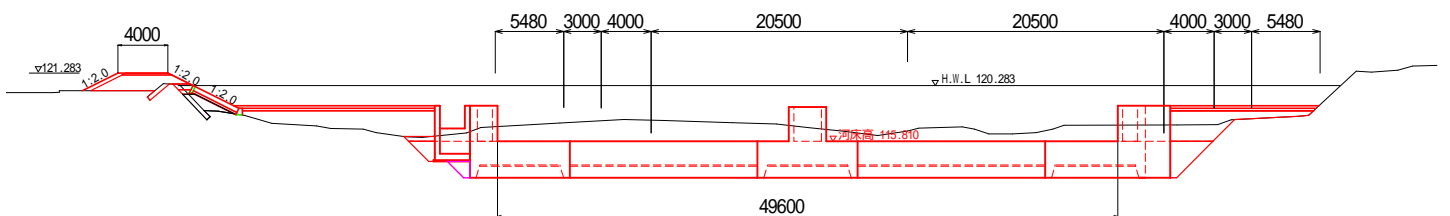


## 出合橋



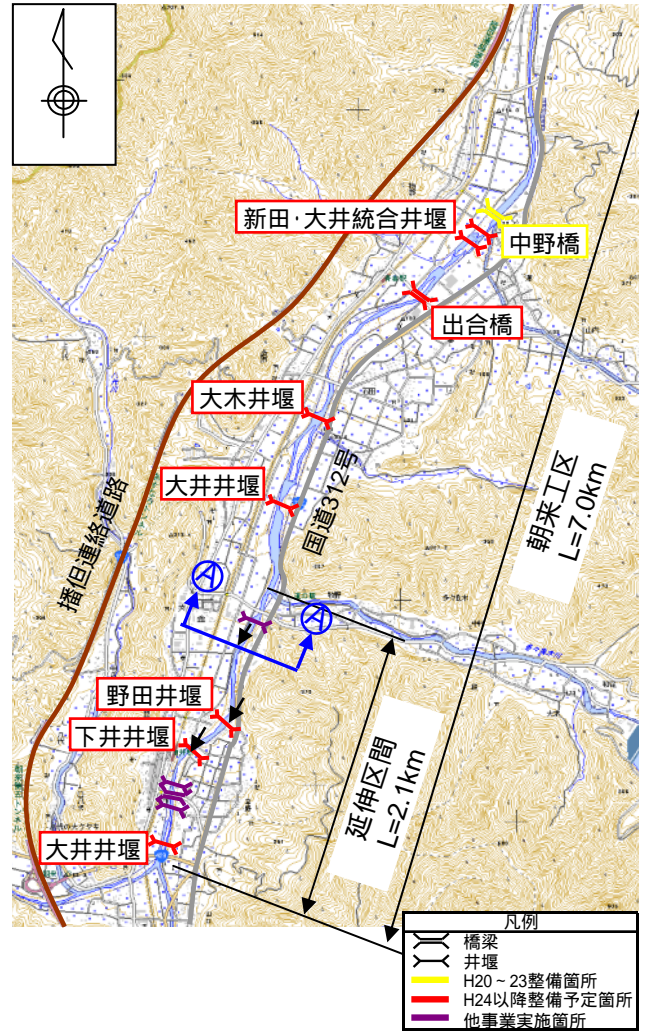
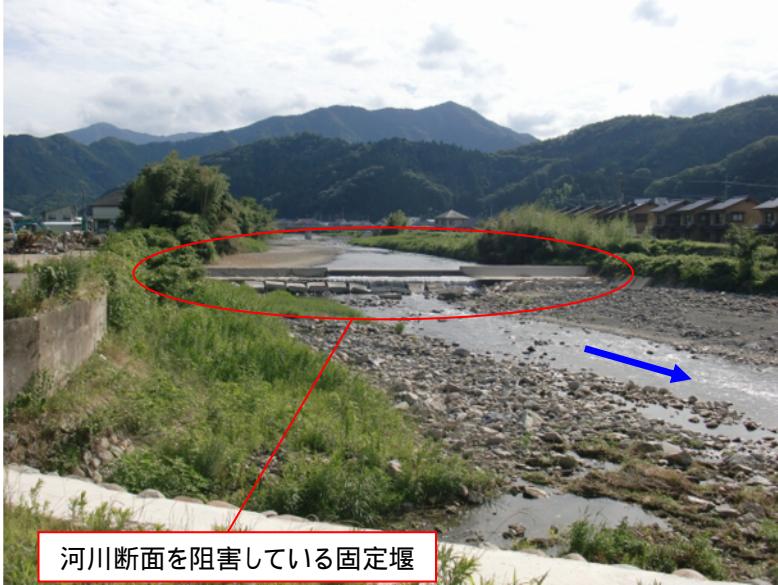
凡例	
	橋梁
	井堰
	H20~23整備箇所
	H24以降整備予定箇所
	他事業実施箇所

## 新田・大井統合井堰



# 未整備区間現況(朝来工区 延伸区間)

野田井堰



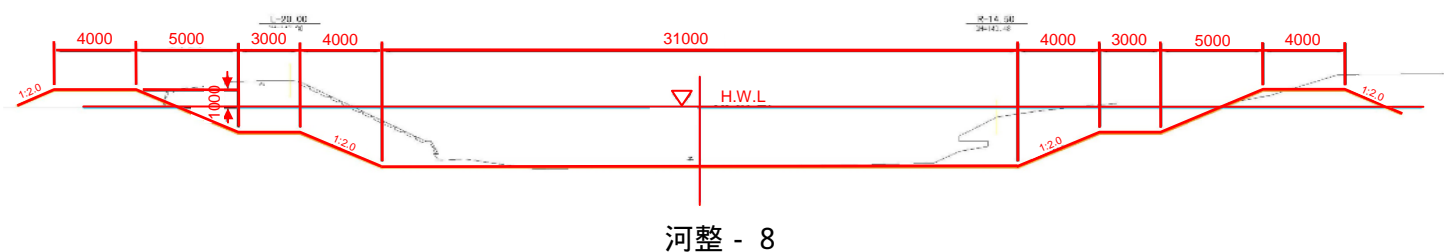
下井井堰



河積不足断面



A-A 断面



# 1. 実施工程表

	H19まで	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	
用地買収	[Blue]				[Blue]			[Blue]			[Blue]										
	現朝来工区 (新田・大井統合井堰周辺)				延伸区間				現朝来工区 (築堤、大木・大井井堰)												
掘削	[Blue]				[Blue]			[Blue]			[Blue]										
	中野橋周辺				現朝来工区				延伸区間 暫定掘削			現朝来工区				延伸区間					
築堤・護岸	[Blue]				[Blue]			[Blue]			[Blue]										
	中野橋周辺				現朝来工区築堤 (一部暫定)				延伸区間 暫定築堤			現朝来工区				延伸区間					
橋梁	[Blue]																				
	中野橋									出合橋											曲り尾橋
井堰	[Blue]		[Blue]																		
					新田・大井 統合井堰					高田井堰		大木・大井井堰		野田井堰、下井井堰、大井井堰							
整備効果	現朝来工区暫定整備完了				延伸区間暫定 整備完了				和田山工区完成		現朝来工区完成		延伸区間完成 (円山川上流工区完成)								
	(円山川上流工区で平成2年台風19号洪水流量を河道内で流下可能)																				

曲り尾橋は現況で計画流量を安全に流下可能

<凡例>	
[Blue]	当初計画
[Red]	実施計画

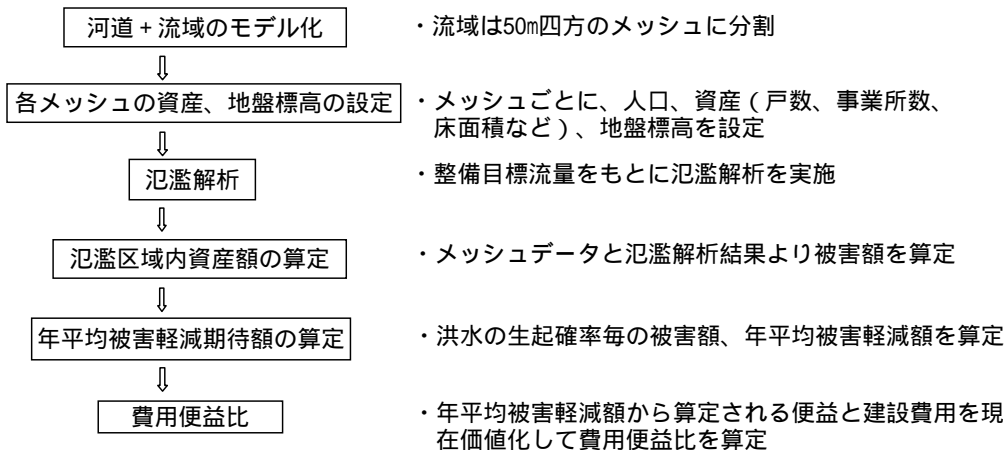
## 2. 事業効果について

### (1) 費用対効果

#### 便益(B)の項目

- 便益 = 治水事業を実施することによる被害軽減期待額を現在価値化  
被害額 = 一般資産被害(家屋、家庭用品、事業所償却資産、農漁家償却資産等)  
+ 農産物被害 + 公共土木施設等被害 + 営業停止被害 + 応急対策費用
- 費用 = 「建設費 + 維持管理費 - 残存価値」を現在価値化

治水経済調査マニュアル(案) 建設省河川局 平成17年4月



#### 費用便益比(B/C)算出根拠

便益 (B)		費用 (C)			B / C
総便益 (百万円)	代表的な効果	総費用 (百万円)	事業費 (百万円)	維持管理費 (百万円)	
274,413.0	浸水戸数587戸(床上209戸)の軽減 浸水面積201haの軽減	224,717.0	222,383.0	2,334.0	1.2

### (2) 費用対効果に含まれない効果

- 生物の多様な生活環境の保全・再生・創出による魅力ある河川空間の創造
- 井堰改築に伴い魚道を設置することによる河川連続性の確保
- 従前からあった瀬や淵、みお筋等を可能な限り保全・復元
- 親水空間の整備による魅力ある河川空間の創造
- 高水敷に散策路を整備することによる親水性の向上